

(財)女性のためのアジア平和国民基金

第93回理事会

平成19年2月

第93回 理事会議事録

1. 開催日時

2007年2月2日(金) 18:00-21:00 アルカディア市ヶ谷

2. 定足数

理事現在総数は11名のうち、出席理事は8名、委任状出席理事が3名、定足数は満たしている旨報告があった。

[出席理事] 村山富市理事長、石原信雄副理事長、 有馬眞喜子理事、
衛藤清吉理事、 大沼保昭理事、 金平輝子理事、
宮崎勇理事、 和田春樹専務理事

[委任状出席理事] 大鷹副理事長、植本真砂子理事、古賀伸明理事、

[運営審議会] 高崎宗司委員長

[監事] 入山健之助監事

[オブザーバー] 内閣官房 南 慎二事務官

外務省アジア大洋州局地域政策課長

同 地域政策課

同 同

相川一俊課長

丸尾伸一事務官

篠川志保事務官

[事務局]

峯岸良夫総務部長、 岡 植業務部長、 原田信一事務局員、

佐藤榮子事務局員、 渡邊千尋事務局員、 高江洲晴子事務局員

3 理事会

議事署名人の選出

議長に一任となり、議長より有馬理事および宮崎理事が指名された。

【1】事務局からの報告

1. C'SEA朋(TOMO)からの申し入れ

アフターケアにとりくむ表記団体代表者である中嶋滋氏が訪問し、特定非営利活動法人として現在香川県に認可申請中であり、認可の際には基金から、さまざまな面で援助してほしいとの要請をされた。

2. 医療・福祉支援追加事業実施状況報告

(1) 韓国

原田事務局員より1月2回実施した巡回ケア事業について報告があった。

その経験から、車と家が問題であり、慰霊祭の実施も精神的ケアのために必要だということが主張された。

(2) 台湾

岡業務部長より1月実施した巡回ケア事業の報告があった。

3. インドネシア出張報告及び最終報告

和田事務局長より出張報告及びインドネシア最終報告があった。

ブリタールの「ファミリー」基金の施設は元慰安婦14人を入居させている施設だが、そこから救急車の寄贈の要請をうけた。医療福祉支援追加事業の一環として、韓国の団体への福祉自動車の寄贈とセットにして、インドネシアへ

の寄贈を実現することは出来ないかという提案が出された。

4. 資料整備現状報告
基金所蔵の図書は財団法人人権教育啓発推進センターに、慰安婦関係戦史資料はC'SEA冊(TOMO)が寄贈希望している。

【2】議題審議

議題 1 韓国問題について

和田事務局長より、前回表明された中嶋報告書に対する意見が文書で配布された。その上で別紙のように理事会の決定案が提起され、討論の結果承認された。13日の理事会でこれに基づいて応答要領をまとめることが決定された。

議題 2 2月14日記者会見及び感謝の会について

在京関係国大使への招待状発出等が指示された。

議題 3 政府申し入れ案文について

理事に案文を検討し、意見を出してもらうことが要請された。

議題 4 基本財産について

理事長と副理事長で、基本財産の処分について協議し、決定案をまとめていただきたいとの要請が出され、合意された。

議題 5 追加議題 医療福祉について

追加事業の更なる追加について、インドネシアと韓国の団体への自動車の寄附と、韓国の巡回ケア事業のために部屋を借りる、慰霊祭を行うとの案が検討され、事務局で外務省と協議して、案をまとめることになった。

次回理事会は2月13日(火)開催する。

2月下旬にもう一度理事会を開催した方がよいとの意見があったが決定されなかった。
議事録が正確なものであることを証するため、下記に署名押印する。

平成19年2月2日

議 長 (理事長) 理事長 村山 富



議事録署名人 (理事)

有馬 真喜子



同

(理事)

宮崎 勇

